

2026 年 7 月 31 日
一般社団法人日本能率協会

**プロセス産業の設備・機器、生産に関わる対策技術を集めた展示会
「プラントショー2026」が閉幕**
109 社が出展、同時開催展との相互入場者をあわせ 43,725 名が来場

一般社団法人日本能率協会（JMA、会長：中村正己）は、2026 年 7 月 15 日（水）～17 日（金）の 3 日間、東京ビッグサイト東 2 ホールで、化学、石油、エネルギー関連ビジネスの活性化を目的とした専門展示会「**プラントショー2026**」を開催しました。

本展は、「第 36 回プラントショー」「第 5 回防爆・防災リスク対策展」「第 13 回水イノベーション」「第 16 回環境・エネルギー対策展」「第 1 回プラント DX/AI ソリューション展」で構成。今年は 109 社（208 ブース）が出展、来場者数は、会期 3 日間で単体として 7,360 名（同時開催展との相互入場者を合わせると 43,725 名）になりました。

※同時開催展：「TECHNO-FRONTIER 2026」、「メンテナンス・レジリエンス 2026」、「第 12 回猛暑対策展」、「第 13 回 労働安全衛生展」「第 5 回 騒音・振動対策展」「第 1 回 におい対策展」



会場の様子

期間中、プラントを構成する機器・設備をはじめ、製造プロセスにおける安全対策や周辺環境対策、効率化・省人化を目指す DX 技術など、幅広い分野における最新製品・サービスを展示・紹介しました。

来場者からは、「工場内の AI・DX 化を進めるにあたって参考になった」「新技術や最新設備に触れ、今後の開発や改善につながる知見を得られた」といった声が寄せられ、本展への高い関心がうかがえました。

また、出展者からは、「さまざまな業界の方が来場し、想定していた業界以外からも反響があった」「来場者層がターゲットと合致しており、多くの方にブースへお立ち寄りいただけた」といった声も聞かれ、会場では活発な交流や情報交換が行われました。

■ 次回の化学関連の展示会は、2027 年 9 月 15 日～17 日 INCHEM TOKYO 2027

好評のうちに閉幕した「プラントショー」に続き、次回の化学関連展示会は「INCHEM TOKYO 2027」を開催します。本展示会では、化学を中心としたプロセス産業に関わる設備・機器・関連技術が一堂に集結します。

【開催概要】

名称：INCHEM TOKYO 2027

会期：2027年9月15日（水）～17日（金）

会場：東京ビッグサイト 東4から6ホール

主催：公益社団法人化学工学会／一般社団法人日本能率協会（JMA）

JMAは、本展示会を通じ、製造業、建設業の生産性向上や持続可能な社会資本整備を手助けするとともに、誰もが安心して働き、過ごせる環境づくりの実現を目指します。

日本能率協会の展示会

日本能率協会は、産業界の活性化に貢献することを目的に1960年に「第1回メンテナンスショー」を開催して以来、製造・インフラ産業から食・サービス産業まで、幅広い分野で展示会を開催しています。

現在は、東京・大阪・福岡・北海道の各エリアとオンラインで、年間約30本の専門展示会を実施しています。

国内外から参加し、人・モノ・情報が行き交う専門展示会は、多様な企業・産業・業界・国の垣根を超えた新たな出会い、つながりをつくる機会を創出しています。

年間スケジュール：<https://www.jma.or.jp/img/pdf/pdf-exhibition.pdf>

【本件に関するお問い合わせ先】

プラントショー2026事務局

一般社団法人日本能率協会 経営・人材革新センター内 担当：瀧浪

〒105-8522 東京都港区芝公園 3-1-22 / TEL: 03-3434-1988（平日 9:00～17:00）

E-mail：sp-expo@jma.or.jp

【報道関係の方のお問い合わせ先】

一般社団法人日本能率協会 広報室 担当：植草

E-mail：jmapr@jma.or.jp / TEL：03-3434-8620